

■関連文化財群の構成文化財一覧（札幌軟石）

番号	文化財の名称	指定等の状況	ストーリーの中の位置づけ等	所在地
1	石狩川	指定なし	・大雪山系の石狩岳に源をもつ1級河川。 ・流域は、札幌市や旭川市をはじめ46市町村にまたがり、札幌市街地を流れる豊平川も支流の一つ。 ・平成13年（2001年）に北海道遺産に選定されている。	北区、東区
2	高城商店 （石造倉庫）	札幌景観資産 （第25号）	・昭和7年（1932年）頃に建設された。 ・三角屋根と下見板張りの外壁で、木造の和風商店建築。壁に貼られたホーロー製の看板などと一体となって昭和の時代を感じさせ、札幌へ農産物を運ぶ元村街道筋として発展してきたこの地域の姿を今に伝える。 ・外部から望見できないが、札幌軟石を使用した倉庫がある。	東区北7条東4丁目28
3	秋野総本店薬局	さっぽろ・ふるさと文化百選 （建物）No. 7	・明治34年（1901年）に建てられた建物で、切妻屋根に白壁の土蔵造と石蔵を備えた店構えは、明治時代の商店の雰囲気をしるばせる。	中央区南1条西1丁目
4	旧沼田屋倉庫 （現・豆蔵珈房「宮田屋」東苗穂店）	札幌景観資産 （第30号）	・昭和37年（1962年）に建設された。 ・札幌軟石が使用された旧玉ねぎ倉庫。界隈で最も大きいものだった。 ・札幌軟石を活かして、あえてザラザラに仕上げた壁が特徴。 ・札幌は、明治時代に日本で初めて食用の玉ねぎが栽培された地であり、この軟石倉庫が建つ一帯は、かつて玉ねぎ畑が広がっていた。 ・倉庫は珈琲店に生まれ変わり、大空間を利用してライブやギャラリースペースにも使われている。	東区東苗穂5条2丁目11-18
5	篠路駅周辺の倉庫群	さっぽろ・ふるさと文化百選 （建物）No. 30	・昭和10年（1935年）、札幌線（桑園～石狩当別間）の開通により篠路駅は野菜の出荷の基地となり、賑わいを見せた。 ・周辺には石造の野菜倉庫が立ち並び、全国に向けて玉ねぎなどが送り出された。	北区篠路3-7

			・現在は、レンガ造と石造の倉庫が数棟立ち並んでいる。	
6	八紘学園資料館 (旧吉田牧場畜舎・石造サイロ)	さっぽろ・ふるさと文化百選 (建物) No. 40 札幌景観資産 (第9号)	・八紘学園栗林記念館と同じく、八紘学園内にあるこの畜舎とサイロは、明治37年(1904年)に建てられ、サイロは昭和18年(1943年)に一度改築され現在の姿になったと伝えられている。 ・「八紘学園の洋館と牧舎」の名称で、さっぽろ・ふるさと文化百選に選定されている。	豊平区月寒東1-12~13
7	北海道大学 旧第二農場釜場	国重要文化財 附指定	・北海道大学農学部第二農場は、明治42年(1909年)から45年(1912年)にかけて現在地(北18条西8丁目)につくられたもので、北海道酪農の模範農場として、指導者の養成・農業技術の向上に寄与した。第二農場を構成する木造、石造、レンガ造の諸建築は、明治末期の建築として評価されるだけでなく、そのたたずまいは景観的にも著名である。 ・釜場は、明治43年(1910年)に建てられ、北海道大学構内では珍しい札幌軟石の建物。内部には大きな竈が2つ据えられ、豚に与える飼料を煮込んでいた。	北区北18条西7目
8	北海道大学 旧第二農場 原動機室	国重要文化財 附指定	・脱プ室(収穫した穀類のもみ殻をはずす作業を行う空間)に隣接して大正元年(1912年)に建てられた札幌軟石造の建物で、当初は蒸気エンジン、後に石油エンジンの原動機が据えられた。 ・平成16年(2004年)の台風18号の被害で、倒木が本建物を直撃し倒壊したため、現在は鉄筋コンクリート造の壁体に薄く切った軟石を張った仕上げになっている。	北区北18条西7目
9	北海道大学 旧第二農場 サイロ	国重要文化財 附指定	・大正元年(1912年)に建てられた道内最古の円筒形石造サイロ。	北区北18条西7目

10	近藤牧場 (石造サイロ)	さっぽろ・ふる さと文化百選 (建物) No. 28	- 札幌市街地に残る数少ない牧場のひとつで、木製サイロ（大正 14 年（1925 年）建築）と札幌軟石製（建築年不明）のサイロが建っている。 「近藤牧場」の名称で、さっぽろ・ふるさと文化百選に選定されている。	北区新川 694
11	旧馬場農場の サイロ	さっぽろ・ふる さと文化百選 (建物) No. 36	- 昭和 2 年(1927 年)に、種畜生産と乳製品の加工を目的として、馬場和一郎が建設した農場のサイロ。 - サイロの規模は、高さ 9 メートル、直径 6.15 メートルである。	厚別区厚 別中央 2-3
12	旧宇納牧場 サイロ	指定なし	- 一帯は、大正 13 年（1924 年）、「日本酪農の父」と言われた宇都宮仙太郎が、デンマーク留学から帰国した娘婿の出納陽一と共同で「宇納牧場」を開設した土地である。 - 現在も、旧出納邸、雪印バター誕生の記念館、「酪聯発祥の地」碑、札幌軟石のサイロなどが保存されている。	厚別区上 野幌 1-5
13	日本キリスト教 団札幌教会 (旧札幌美以 教会堂)	国登録有形文化財 さっぽろ・ふる さと文化百選 (建物) No. 4 札幌景観資産 (第 7 号)	- 札幌軟石を使用したロマネスク風の現会堂は明治 37 年（1904 年）に建てられた。創成川に面して、今も古いたたずまいを残している。 「日本キリスト教団札幌教会」の名称で、さっぽろ・ふるさと文化百選に選定、「日本基督教団札幌教会礼拝堂」の名称で札幌景観資産に指定されている。	中央区北 1 条東 1 丁目
14	カトリック北一 条教会司祭館カ テドラルホール	さっぽろ・ふる さと文化百選 (建物) No. 3 札幌景観資産 (第 23 号)	- 札幌軟石を使用した石造の壁に瓦屋根を組み合わせた建物で、明治 31 年(1898 年)の創建当初は、1 階が司祭住宅、2 階が会堂として建てられ、現在は教会のホールとして活用されている。 「カトリック北 1 条教会」の名称で、さっぽろ・ふるさと文化百選に選定されている。	中央区北 1 条東 6 丁目

15	ツルハシなど 石切に使う道具	指定なし	・軟石の手掘りには、堀切りツル（ツルハシ）、ハンマー、金矢、野取りツルが用いられた。 ・ツルハシの先は鋼になっていて、石工はその日に使う道具を毎朝早くから鍛冶場で鍛えていた。 ・これらの道具は、機械によって掘り出されるようになる昭和 35 年（1960 年）頃まで使われていた。	
16	石山通 （国道 230 号）	指定なし	・かつては「石切山道」と呼ばれ、八垂別の硬石、石山の軟石を運搬するため、明治 5 年（1872 年）に開削された道路。 ・石切山道は山鼻兵村の区画と整合せず、給与地を斜めに通じていたため、明治 9 年（1876 年）新規に幹線道と兵村中央道路を兼ねた一線を開いた。	中央区・南区
17	旧石切山駅（現・石山振興会館）	札幌景観資産 （第 10 号）	・石切山駅は、大正 7 年定山溪鉄道の開通と共に開業した。 ・昭和 44 年（1969 年）の鉄道廃止後、現存する唯一の定山溪鉄道駅舎であり、「ぼすとかん」とともに石山地区の歴史を物語るシンボリックな建物として親しまれている。 ・旧石切山駅は建物の基礎部分に札幌軟石が使われている。	南区石山 1 条 3 丁目 1-30
18	旧石山郵便局 （現・ぼすとかん）	さっぽろ・ふるさと文化百選 （建物）No. 41 札幌景観資産 （第 5 号）	・石山街道沿いに残る札幌軟石が用いられた、昭和 15 年（1940 年）の建物。 ・アーチ型の玄関など当時札幌で流行した洋風石造建築のおもかげが残っている。 ・建設当初は郵便局、現在は「ぼすとかん」と名称を変え、まちづくり活動の場として活躍している。 ・旧石切山駅とともに、石山地区の歴史を物語るシンボリックな建物として親しまれている。	南区石山 2 条 3 丁目 1-26
19	石山神社	指定なし	・明治 18 年（1885 年）、祭神を祀って設立したと言われる神社で、明治 43 年（1910 年）に社殿が建てられた。	南区石山 2 条 3 丁目 254

			・鳥居は昭和2年（1927年）木造から軟石造へ建て替えられた。	
20	旧札幌控訴院 （札幌市資料館）	国指定重要文化財 さっぽろ・ふるさと文化百選 （建物）No. 18 札幌景観資産 （第17号）	・大正15年（1926年）、控訴院として建てられ、昭和48年（1973年）まで札幌高等裁判所として使われた。 ・大通公園の西端に面し、外壁は札幌軟石、内側はレンガ造、さらに2階床と階段廻りなどは鉄筋コンクリート造が用いられている、いくつもの構造を用いた混構造である。	中央区大通西13丁目
21	石山緑地	指定なし	・札幌軟石の産地であり、石切場跡地。 ・石切り場の切羽がそのまま残っており、その上には浸食が進む火山灰層も見られる。	南区石山78-24 外
22	石山軟石採掘場跡	さっぽろ・ふるさと文化百選 （遺跡）No. 68	・明治8年（1875年）に発見された軟石は、洋風建築の資材として注目され、積極的に採掘が行われた。コンクリートの普及により軟石は劣勢になった。	南区石山78
23	藻南公園	さっぽろ・ふるさと文化百選 （遺跡）No. 67	・札幌軟石の採石場跡地。札幌軟石ひろばの岩の壁面には、軟石が切り出された初期の切羽跡が残っている。 ・「伝説・おいらん淵」の名称で、さっぽろ・ふるさと文化百選に選定されている。	南区川沿9～11条1丁目 真駒内真駒内柏丘7・8・12丁目（公園範囲）
24	札幌軟石の小物	指定なし	・札幌軟石は柔らかく加工しやすいのが特徴。 ・ぼすとかんに入る「軟石や」では、札幌軟石を活用した雑貨を取り扱っている。	-

※上記一覧には、公開されていないものもあります。

※北海道の産業とくらしを支えた札幌軟石に関連する石文化は、「札幌軟石」の名称で北海道遺産に選定されています。